

芦屋中央病院跡地の状況について

1 芦屋中央病院跡地の敷地及び周辺状況に関する事項について

・福岡県遠賀郡芦屋町幸町 8 番 30 号

【位置図】



【周辺図】

所在地



敷地面積	18,556.94 m ² (約 5,600 坪)
用途地域	第一種住居地域 (建ぺい率: 60%、容積率: 200%)
接道状況	南側: 道路幅員 15m 西側 (海側): 道路幅員 16m
液状化	地震による液状化の可能性 2% 程度。(安全)
周辺状況	<p>芦屋港</p> <p>芦屋港活性化基本計画</p>  <p>芦屋港イメージパース (1号上屋複合施設と海辺のプロムナード)</p> <p>□ ボートパーク、海釣り施設 □ 1号上屋リノベーション複合施設 □ 全天候型施設・広場 など</p> <p>町営望海団地: RC 5 階建て、2 棟</p>

2 敷地内の既存建築物に関する事項について

名称	旧芦屋中央病院
築年数	昭和 51 年 (築 約 47 年)
構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上 5 階
建築面積	5,098.81 m ² (約 1,500 坪)
延床面積	11,988.85 m ² (約 3,600 坪)
従前用途	病院 ※2018 年 (平成 30 年) 3 月移転に伴い閉鎖
増改築等 (抜粋)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1976 年 (昭和 51 年) 竣工 ・ 1979 年 (昭和 54 年) 外来診療室、医局等増築 ・ 2000 年 (平成 12 年) 病棟増改築工事※新館 (ほほえみホール) 部分
耐震補強	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 19 年公共施設耐震診断調査を実施。基準 Iso0.6 のところ 0.60 でクリア。 ・ ただし、災害拠点建築物として利用する場合は、Iso0.75~0.9 が必要であり、耐震補強が必要。 ・ 新館は平成 12 年増築であり、耐震基準を満たしている。
アスベスト	<ul style="list-style-type: none"> ・ 吹き付けアスベストは使用されていないが、旧館 1 階廊下の天井形成板はアスベスト含有建材。その他、アスベスト含有保温材及びアスベスト含有断熱材等を有している可能

	<p>性あり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常ではアスベスト繊維は飛散しないが、建物の改修工事又は解体工事の際には適正処理が必要。
エレベーター	<ul style="list-style-type: none"> ・平成12年度増築の新館（5階建て）にはエレベーターがなく、旧館（5階建て）のエレベーターを利用。 ・旧館のエレベーターは、改定された「エレベーターの安全に係る技術基準」を満たしていないため、建築確認申請を伴う大規模な改修にあたっては新基準のエレベーターの設置が必要となる可能性もある。
階段	<ul style="list-style-type: none"> ・旧館と新館で2方向避難の階段に対応していたため、新館のみ活用する場合は、もう1ヶ所階段の増設が必要となる可能性もある。
建築設備	<ul style="list-style-type: none"> ・上水、汚水排水、ガス、電気、防災設備、空調設備等のライフラインの制御基盤が旧館側にあるため、新館のみ利用して旧館を解体する場合は全てを新たに整備する必要がある。

■旧芦屋中央病院の外観



旧館側



新館側

■旧芦屋中央病院の内観



1F 新館玄関付近ホール



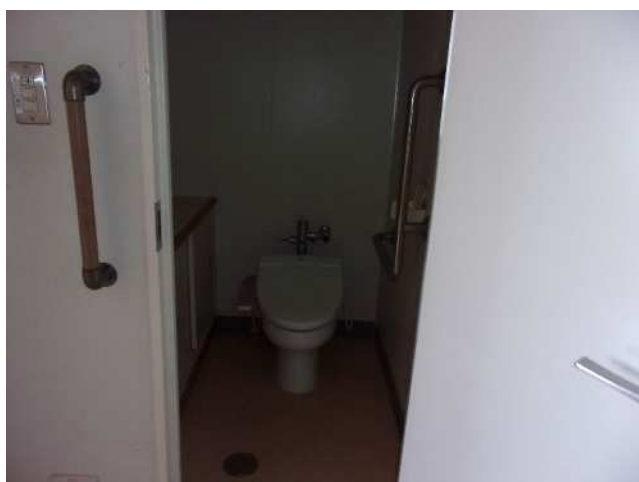
1F エレベーター



2F 病棟



2F ナースステーション



2F 病棟トイレ



2F 病棟洗面所

■旧芦屋中央病院か 4F からの眺め



■ 芦屋港（イメージ）

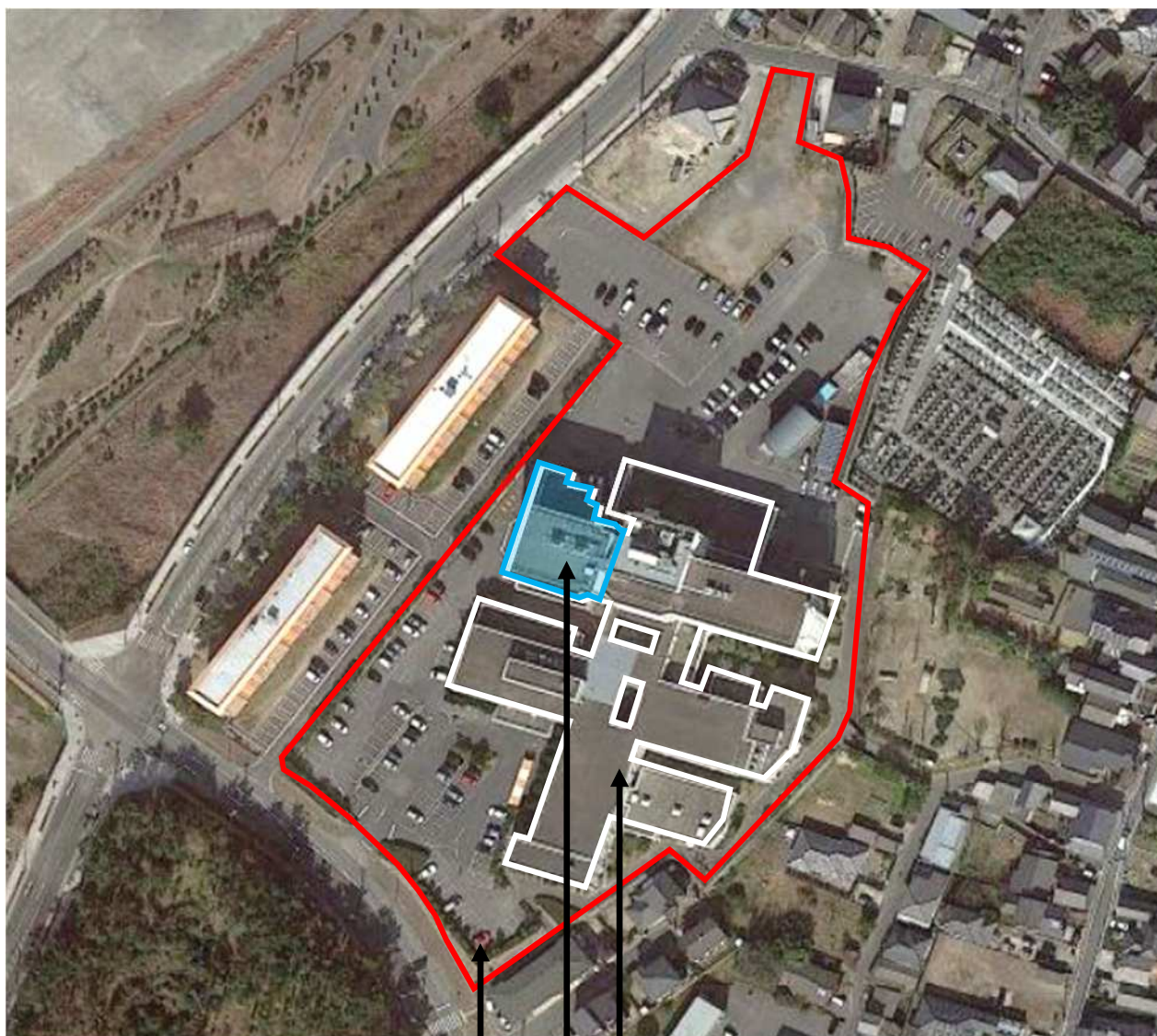


芦屋港イメージパース
(全天候型施設と1号上屋複合施設)



施設配置図
(配置は変わる可能性があります)

芦屋中央病院跡地及び付近の航空写真



- 旧芦屋中央病院建物
- 2000年(H12年)建設の新館増築部
- 旧芦屋中央病院敷地